

科名 血液内科

血内-191(1)

対象疾患名 CD20陽性の濾胞性リンパ腫

プロトコール名 ガザイバ1サイクル目(1コース28日)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	28
1	点滴	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		↓		
2	点滴	側管	デキサート注	16.5mg	30分かけて	↓						
			生理食塩液	50mL								
デキサート終了後、前処置薬を服用し、1時間ルートキープ												
3	点滴	側管	ガザイバ	1000mg	12mL/h→25mL/h→37mL/h →50mL/h→62mL/h→ 75mL/h→87mL/h→100mL/h 全量250mLにする	↓						
			生理食塩液	210mL								
4	点滴	側管	ガザイバ	1000mg	25mL/h→50mL/h→75mL/h →100mL/h 全量250mLにする			↓		↓		
			生理食塩液	210mL								

★1クール=28日

～MEMO～

催吐リスク 最小

トレアキシシンと併用する。

<infusion reaction対策>

・初回投与時はデキサート注投与終了後、カロナール1000mg、ポララミン2mgを服用し1時間ルートキープ後、ガザイバ開始。2回目以降の投与時は、前回grade3以上のinfusion reactionが無ければ、カロナールとポララミンのみをガザイバ投与30分以上前に服用する。

・ガザイバ初回投与時、点滴速度は12mL/時で開始し、患者の状態を観察しながら、30分ごとに上げることができる。(コメント欄参照、最大100mL/時)

・2回目以降の投与は、前回Grade2以上のinfusion reactionが発現しなかった場合は、25mL/時で投与を開始し、infusion reactionが認められない場合は、30分ごとに25mL/時ずつ最大100mL/時まで上げることができる

・ガザイバ調製方法:生理食塩液250mLから40mLをあらかじめ抜き、ガザイバ40mLを加え全量250mLにする